

# With Sakura



横浜市立瀬谷さくら小学校  
学校運営協議会だより  
令和3年7月20日発行

## 青パトのアナウンスが変わりました

令和3年になって青パト巡回時のアナウンスが変わったことにお気づきでしょうか

昨年度4年1組は総合的な学習の時間で環境問題に取り組みました。自分たちの町は自然が多い、優しい人が多い、学援隊がある町と実感している。一方で相沢川が汚い、魚が困っている、このままだと自分たちの生活に影響がある、という課題に気づきました。川や海の汚れで地球が汚染されダメになっていくのは怖いという気持ちを持ちインターネットや本で調べる活動を通して、自分達ができることは何かを考え、次の4つについて実行しました。

「①ポイ捨てをしない②分別をきちんとやる、教室のゴミ箱に分別の表示をした③新聞、ポスターリーフレットを作って地域の人達にもPRするそして④ポイ捨てを止める事、ゴミの分別を守る事を青パトでアナウンスする」

ポスターは自治会の掲示板に掲載されており、リーフレットはコミスクに置いてあります。子供たちは今は5年生になりましたが、これからも環境問題を考え、ポイ捨てをしない、ゴミの分別をしっかりとやると嬉しそうに話しています。《大人もしっかりしましょう。》



海の生物を守る「ストップポイ捨てチーム」

## 令和3年度「さくらの子応援隊」(学習サポート)の実施要項が決まりました

昨年度は、コロナの為に実施が殆ど出来なかった「さくらの子応援隊」の活動を今年度は実施すべく5月12日の説明会と5月28日の検討会で次の様な次第に決定しました。現在、支援の参加者が減少傾向です、ぜひご協力願います。



- ☆ 開始はコロナの様子を見て9月から開始予定ですが、変更もあります ☆
- ① サポートA 従来の算数サポートですが、当日解答は配布せず、授業内容に合わせた支援とする
  - ② サポートB 学校から事前に予定を貰って事務局で参加者を集める(郊外活動、家庭科、PC等)
  - ③ サポートC 事務局が一週間の予定を受け取り、参加予定者に配布する。(個々の教室での支援)

- ☆ ご不明な点等ございましたら、地域コーディネーターの芦田、西村、野口までご連絡下さい ☆  
☆ 上記とは別にキッズクラブ主催の「さくらキッズ2021」もあります。☆





## 子供たちの原風景

瀬谷さくら小学校 学校長 池田千晶

令和2年度はコロナ禍の中、子どもと地域の方々の双方の安全を守るために、活動が制限された中での取組でした。しかし、活動が制限されても知恵を絞れば心を通い合わせることができると感じました。いつも地域の方々から恩恵を受けるだけでなく、子どもから地域の方々に返すものがないか考えていると、担任が子どもと共に通学路等の道端に植栽をする等具体的な活動にしていきました。双方向の繋がりがあってこそ価値あるものになっていき、活動した場所や内容が子どもたちの心の原風景になっていく。原風景は苦しいときに心を支えてくれます。学校運営協議会及び地域の皆様がさくらの子を慈しみ育てて、繋がりを創ってくださることに改めて感謝します。



## 自分の命を守り、家族や地域の方々を思いやれるさくらの子を 学校運営協議会会長 網代宗四郎

緑の木陰の慕わしい今日この頃でございますが、皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃は、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の運営に温かいご理解とご支援を頂いております事に心より感謝申し上げます。今年度も、皆様のご理解とご協力を頂きながら、主に次のような活動をしてまいります。



児童の皆さんが、安全に安心して登下校できるよう、登下校中の見守りと交通安全指導や防犯指導を、学援隊や地域の方々、PTAの皆様のご協力を頂き行ってまいります。

児童の皆さんの学習やクラブ活動の支援を、さくらの子応援隊の皆さんに行って頂きます。大変残念な事に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為に、児童の皆さんや保護者や地域の皆さんの安全を図る為に、交流会主催の「さくら小地域夏祭り」を今年度も開催できないという事でございます。暑い中マスクを着用され、しかも学校や家庭・地域での生活を自粛されている児童の皆さんに、楽しい”お祭り”を提供できない事がとても残念で、しかも、心苦しく思います。コロナの感染予防に立派に頑張っておられる児童の皆さんに大きな拍手をお贈りします。学校運営への理解と協力、そして適切な評価を行いますと共に、運営協議会の活動を皆様にご理解頂くための広報活動を学校評価・広報部会の皆さんと一緒に行ってまいります。災害から児童の皆さんを何時、如何なる状況の中でも守る為の、学校・保護者・地域等の役割や連携を検討・啓発を致します。児童の皆さん一人ひとりが、地震災害や風水害から自分の命を守ることが出来るよう、さらに、家族の・地域の一員として、家族や地域の皆さんの役に立てる人になって頂けるようお願いしてまいります。結びに、夏休み中に児童の皆さんの見守りとお声掛けをお願い申し上げますと共に、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。



## コロナ禍での学援隊隊員の児童見守り活動に感謝・感謝 運営協議会副会長 学援隊隊長 馬場勝己



昨年、新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、今もなおその勢いは衰えず、地域行事は殆どが中止となっています。恒例の瀬谷さくら小学校区交流会主催の「さくら小地域夏祭り」も昨年に続き中止となりました。残念でなりません。緊急事態宣言の発令解除後も、それに準じる蔓延防止等重点措置が適用され、今もなお様々な行動が制約される中、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の活動も計画どおりには進んでおりません。

そんな状況下ですが、児童のみなさんは毎日元気に学校に通っておりますので、学援隊の皆さんは、毎日欠かさず登下校時の見守りを行っています。これは、2009年の開校以来続いています。とても素晴らしいことです。学援隊を預かる私としては、感謝・感謝の気持ちでいっぱいです。地域の誇り、学校の誇りです。

今後も学校運営協議会の活動として続けて参りますが、発足以来12年が経過し、高齢化が進んでおりますので若返りが必要です。是非とも地域の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

私は常々、子どもは「国の宝・地域の宝」と申しております。次代を担う子ども達の健やかな成長を願って、これからも見守り活動を続けましょう。





## 「モチモチ文庫」と「レインボースマイル」は 読み聞かせの授業をほぼ毎週行っています



3年1組での読み聞かせ

「モチモチ文庫」は笠原八重子さんが下瀬谷小学校の塩見校長先生から依頼され、今日まで20年間続いています。5月の連休明けから2月までの第一週から3週まで、朝の8時20分から30分まで行われます。2, 3年生が対象です。2月の4, 5, 6年生の読み聞かせは6人で行なわれます。ご自身が感動したもの、心を動かされた本を、毎回選んで読まれています。「読み聞かせ」をやって、子供たちが喜んでくれる事と、真剣に聞いてくれるのが嬉しいと語っています。子供達も終わってから話を聞くと「楽しい」「面白いと」感想を語ってくれました。

モチモチは絵本の「モチモチの木」から引用したもので、本の内容はお爺さんと孫の愛情のお話で、モチモチの木は栃の木で実は粉にすると美味しい餅になります。

「レインボースマイル」瀬谷さくら小学校が開校して直ぐに図書ボランティアとして、学校に関わってきた。その後読み聞かせを始め、月曜日は1, 2年生を中心に中休みに学習室で、金曜日は朝の時間に4, 5, 6年生の教室で行っている。現在は谷口未恵さんを代表として十数人のメンバーで実施しています。中休みの教材は自分たちで、子供が喜びそうな内容で、絵がきれいな絵本を選び、4, 5, 6年生の教材は司書の先生に選んで頂いているとの事です。

「読み聞かせ」をやっていると、子供たちが真剣に聞いていてくれること、楽しみにして待っていてくれる、本を読むことに興味をもってくれるのが嬉しいと語っています。また、自分たちも学校に来て、子供を見ていると楽しいし、何より自分たちが元気を貰っていると語っていました。

話の最後に「在校生の保護者のメンバーが少ないので募集中」との事です。本の世界には無限の広がりがあり子供たちの興味の世界は尽きず夢は広がります。ぜひ参加してあげてください。



### 校長先生のレビュー

静寂な空気の中、一人の人の声が響き渡り子どもは一点を見つめている。これは読み聞かせをしているときの場面です。学年を問わず子どもの心を捉える読み聞かせの効果は、たくさんありますが、特に子どもの情緒的発達、想像力、言語能力を刺激してくれることは大きいと思います。それは脳の働きからみても科学的に報告されています。一度に多くの時間をとることはできませんが、一滴ずつ確実に心を豊かにしてくれる素敵な時間です。

### 「担任の先生の読み聞かせもあります」

低学年は、担任が読み聞かせをしています。本は、今学習している内容に関連した本、遠足などの行事と関連した内容の本、担任が好きな本、司書の先生に勧めてもらった本などを読んでいます。

読み聞かせの時間は、子どもたちは集中して聞いており、担任は意図的に機会を作っています。



1年1組での読み聞かせ



2年1組での読み聞かせ

## 大勢の瀬谷さくら小学校のスーパーサポーターから2名を紹介します

学援隊・さくらの子応援隊には大勢の方にご協力を頂き活動していますが、  
今回は羽山良夫さんと平井春雄さんお二人の活躍を紹介します



《羽山良夫さん》は平成17年から見守り活動に参加され、見守りは今年で16年目になります。瀬谷さくら小学校となってからは「さくらの子応援隊（学習支援）」にも積極的に参加して貰っています。毎週火曜日に行われている「算数サポート」や不定期ですが「郊外活動」への支援、そして授業のサポートは4組の授業支援も含めて、毎週3、4日を朝から下校迄教室に入ってサポートを行っています。それだけでなく週に2回は学校周りの道路と校庭のゴミ拾いも行っています。

加えて瀬谷第二小学校児童の見守りを下瀬谷2丁目の交差点で毎朝登校の見守りを行い、さくら小学校で午後の授業が無い日は下校の見守りもやっています。ゴミ拾いもさくら小学校と同じように週2回やっています。仕事であれボランティアであれ、やるからには“明るく、楽しく、前向きに”にをモットーにしていますとの事です。「登下校時の子供との挨拶、授業中の会話からエネルギーを貰っています」と語っています。  
(南瀬谷ニュータウン自治会)

《平井春雄さん・ご本人の話》1944年(昭和19年1月)第2次大戦中の生まれです。出生地は鎌倉で25歳で結婚し、親元から離れひなた山で42年余り2人の子供達の2人ずつの孫にも恵まれ、定年後は1匹の犬と2匹の猫の世話をしながら、公園の花や木を愛で、野菜作りを楽しんでいます。さくら小学校との関わりは、10年ほど前より学援隊での登下校時の児童の見守りから始まりました。

学習サポートで子ども達の中に入って、算数の計算の仕方が分かりきっていない子どもの横にしゃがみゆっくり教えていると”分かった”と言われたとき私もとても嬉しく感じる事が何度もあり、実に楽しい。私の作ったカードを算数の授業に使わせていただき担任の先生にとっても感謝しています。さくら小学校の先生、子ども達、関係者の皆さま、私は高齢者ですがこれからも認知症にならない為にも頑張ろうと思っていますのでお付き合いよろしくお願ひいたします。(ひなた山第二自治会)



### ✿ 学援隊からの切なる願ひです ✿

平成17年に学援隊の前進「下瀬谷小学校」、「日向山小学校」見守り隊が発足し、「瀬谷さくら小学校」になって学援隊と改称しました。当時の参加者は皆が60歳代で元気旺盛、意気軒高でした。それから十数年経って今は皆さんが80歳前後の高齢者となり、本人の健康、家庭の事情で継続できない方が増えて来ています。最盛期は百数十名いた隊員も今は100名近くまでに減ってきております。このままでは十分な見守りが出来なくなりつつあるため、昨年からはPTAの方にも協力をお願いし参加して頂いています。学援隊の見守りは子供の安全のため活動していますが、その効果は地域の安全安心と地域の繋がりになります、本校校区内の犯罪は他の地域よりも少ないと感じています。是非、地域の多くの方々に参加活動されることを切にお願い申し上げます。



また青パトの活動資金はアルミ缶の売却益で賄っています。2年前まではPTAと交流会から援助を頂いてましたが、コロナのため中断されています。アルミ缶の売却益は青パトの活動資金となり、結果として、子供達の安全安心になり、そして自治会の安全安心に繋がります。種々ご事情がお有りとは存じますが、併せてアルミ缶の提供にもご協力頂けるよう切にお願い致します。(学援隊事務局)